

牛久市建設工事成績の評定に関する告示

平成30年3月22日
告示第 43 号

(目的)

第1条 この告示は、牛久市が発注する建設工事に係る工事成績の評定（以下「評定」という。）について必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定を実施することにより、工事の適正かつ効率的な施工及び品質を確保し、工事に関する技術水準の向上を図るとともに、受注者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

(評定の対象)

第2条 評定は、1件の設計金額が130万円以上の建設工事について行うものとする。

(評定者)

第3条 評定を行う者（以下「評定者」という。）は、監督職員及び検査職員とする。

(評定の方法)

第4条 評定は、監督又は検査により確認した事項に基づき、監督職員及び検査職員が相互に独立し、公正的確に行うものとする。ただし、一つの工事の監督職員又は検査職員となる者が2人以上ある場合は、協議して評定するものとする。

(評定)

第5条 評定は、工事検査採点基準（別表）及び次の各号に定めるところにより採点し、牛久市工事検査要綱（平成11年訓令第19号）第4条第3項第2号に定める建設工事成績表（以下「成績表」という。）に記入するものとする。

(1) 検査職員及び監督職員の採点持分は、各々50点とする。

- (2) 監督職員は、工事主管課長と協議のうえ、評定するものとする。
- (3) 評定点50点未満の工事又は「出来形」「出来ばえ・機能」「品質」の評価のうち、いずれかに「e」がある場合は不合格とする。
- (4) 不合格工事については、直ちに補修等を行い再検査を受けなければならない。再検査の結果、手直し部分の評価は「d」とする。
- (5) 評定者による「工期」の評定は、完成時期を対象として評定する。
- (6) 検査職員による「工事管理」の評定は、「後片付の状況」のみを評定する。
- (7) 困難性の著しい工事は、安全管理について、採点区分の直近上位を採用することができる。
- (8) 材料を使用しない工事等の場合は、「品質」の評定を「出来ばえ・機能」と読み替え評定する。

(成績表の提出)

第6条 監督職員は、評定を行ったときは、成績表を検査主管課長に提出するものとする。

2 検査職員は、評定を行ったときは、成績表の結果を契約主管課長に通知するものとする。

(評定結果の通知)

第7条 市長は、評定の結果を工事成績評定通知書(様式第1号)により速やかに当該工事の受注者へ通知するものとする。

(評定結果の変更)

第8条 市長は、前条の規定により評定の結果を通知した後に、当該評定の結果を変更すべき事由が生じた場合は、当該評定の結果を変更し、成績表に記入するものとする。

2 市長は、前項の結果を工事成績評定変更通知書(様式第2号)により、速やかに当該工事の受注者へ通知するものとする。

(説明請求等)

第9条 前2条の規定による通知を受けた受注者は、当該通知を受けた日から起算

して14日以内に、当該評定の内容について、工事成績評定に係る説明請求書（様式第3号）により市長に説明を求めることができる。

2 市長は、前項の規定による請求があったときは、速やかに工事成績評定に係る説明書（様式第4号）により受注者に説明しなければならない。

（評定結果の公表）

第10条 市長は、第7条又は第8条の規定により通知をした評定結果を、当該通知をした日から起算して30日以内に、工事成績評定結果表（様式第5号）により公表するものとする。

2 前項の規定による公表は、工事完成検査を行った日の属する年度の翌年度までとする。

（評定結果の利用）

第11条 市長は、第1条に規定する目的を達成するため、評定結果を有効に利用しなければならない。

附 則

この告示は、平成30年4月1日から施行する。

別表(第5条関係)

工事検査採点基準

〔1〕 採点基準（土木工事）

項目	細別	審査要素	採点の着眼点
A 出来形・品質	出来形	規格値に対する精度	設計図書と照合して正しい仕上がりであったか
	出来ばえ・機能	外観及び機能の状況	1 外観、仕上がり面、通り、すり付け 2 全般的に見た感覚

			3 建築物の持っている機能・発揮
	品質	品質・強度	1 使用材料の形状、寸法、品質、強度は適当か 2 素材を加工混合した場合の品質は均等良質で配合、強度等は規格に合致しているか 3 試験結果のバラツキの程度はどうか
	関係資料	関係資料の整備状況	1 工程表に従い、順序良く着手し、より完成に向い整理されていたか 2 完成時確認困難な部分は資料により確認できたか 3 出来形、品質、強度等を明示した写真・資料等の整備状況
B 工程管理	工期	完成時期	a 工期の10%以上短縮 b 工期の10%未満短縮（6日以上又は10%以内） c 工期内完成（5日短縮） d 工期内完成（3～4日短縮） e 工期内完成（0～2日短縮）
	工程表に対する実施状況	計画に対する実施状況	1 計画工程表に対し工事の進捗状況を把握し工程の是正等を行い工期内完成を目標に努力したか 2 着工時期はどうか
C 現場管理	工事管理	後片付の状況	1 資・機材及び仮設物の撤去、清掃 2 復旧状況 3 建築物の清掃
		工事関係記録の整理状況	1 各種関係法令に定められた書類の整備 2 工事の施工にあたり必要な書類の整備
		現場内の整理整頓の状況	1 常に資・機材は整然と整理されていたか 2 工事用借地の使用状況
		関係機関及び地元対策	1 関係法令の遵守 2 地元及び第三者等に対する配慮

		仮設物の状況	工事期間中の維持管理状況
	安全管理	交通誘導	1 交通安全標識等の整備状況 2 迂回路等の整備状況 3 工事中の夜間、休日に対する安全対策 4 交通誘導員の配置
		保安対策	1 保安施設の設置・点検状況 2 危険物の保管取扱いの良否 3 作業員の安全教育 4 機械の保管状況 5 安全管理の組織票の作成
		騒音、振動等の対策	1 事前調査により対策を立てていたか 2 常に影響範囲の施設の点検をしていたか
D 施工体制	施工者の能力	現場代理人の管理能力	1 現場管理に関する諸計画と工事全体を把握していたか 2 作業員に対する統率力 3 設計図書に対する理解度
		主任・監理技術者の適性	発注した工事に対しての施工管理能力
		作業員の配置状況	1 工事規模、工事量に応じて適材適所に配置されていたか 2 計画的な人員配置をしたか
		機械の性能及び適正配置	1 工事規模、工事量に応じ機種及び数量を選定し適正配置をしたか 2 機械の性能、稼働状況
	施工者の熱意	工事に対する積極性	常に積極的で細部についても細心の注意を払い正確に施工したか
		研究心・創意工夫	創意工夫をもって施工し常に研究的だったか
		連絡及び指示事項の履行	常に緊密な連絡を取り指示通り迅速正確な施工をしたか

※ () 内は、検査職員基準

[2] 採点基準（建築工事）

項目	細別	審査要素	採点の着眼点
A	出来形	設計図書に対する精度	構造躯体及び造作等の精度・数量

出来形・品質	出来ばえ・機能	外観及び機能の状況	1 外観の良否 2 仕上がり面の出来ばえ 3 各部分の通り及び納まり 4 各所の取付・機能
	品質	品質・強度	1 使用材料の形状、寸法、品質、強度
	関係資料	関係資料の整備状況	1 各種試験成績表 JIS 規格、保証書等の提出書類の整備状況 2 工事写真、完成写真の整理状況

〔3〕 採点基準（電気工事）

項目	細別	審査要素	採点の着眼点
A 出来形・品質	出来形	設計図書に対する精度	各種材料及び機器等の数量・精度
	出来ばえ・機能	外観及び機能の状況	1 配線の色別・接続・端末処理 具合 2 配管・配線・機器等と他工事との取合い 3 点検・操作等維持管理上の欠陥の有無
	品質	品質・強度	配管・配線・機器等の品質・強度
	関係資料	関係資料の整備状況	1 各種試験成績表 JIS 規格、保証書等の提出書類の整備状況 2 工事写真、完成写真の整理状況

〔4〕 採点基準（機械設備工事）

項目	細別	審査要素	採点の着眼点
A 出来形・品質	出来形	設計図書に対する精度	各種材料及び機器等の数量・精度
	出来ばえ・機能	外観及び機能の状況	1 配管に対する伸縮・勾配・納まり 2 配管・風道・機械器具等の配置、他工事との取合い 3 配管・風道等の点検、操作等維持管理上の欠陥の有無
	品質	品質・強度	配管・風道・機械・器具・保温・塗装等の品質、強度

	関係資料	関係資料の整備状況	1 各種試験成績表 JIS 規格、保証書等の提出書類の整備状況 2 工事写真、完成写真の整理状況
--	------	-----------	---

[5] 採点基準（建築・電気・機械設備工事共通）

項目	細別	審査要素	採点の着眼点
B 工程管理	工期	完成時期	a 工期の 10%以上短縮 b 工期の 10%未満短縮（6 日以上又は 10%以内） c 工期内完成（5 日短縮） d 工期内完成（3～4 日短縮） e 工期内完成（0～2 日短縮）
	工程表に対する実施状況	計画に対する実施状況	1 計画工程表に対し工事の進捗状況を把握し工程の是正等を行い工期内完成を目標に努力したか 2 着工時期はどうか
C 現場管理	工事管理	後片付の状況	1 資・機材及び仮設物の撤去、清掃 2 復旧状況
		工事関係記録の整理状況	1 各種関係法令に定められた書類の整備 2 工事の施工にあたり必要な書類の整備
		現場内の整理整頓の状況	1 常に資・機材は整然と整理されていたか 2 工事用借地の使用状況
		関係機関及び地元対策	1 関係法令の遵守 2 地元及び第三者等に対する配慮
		仮設物の状況	工事期間中の維持管理状況
	安全管理	交通誘導	1 交通安全標識等の整備状況 2 交通誘導員の配置
		保安対策	1 保安施設の設置・点検状況 2 危険物の保管取り扱いの良否 3 作業員の安全教育 4 安全管理の組織票の作成
		騒音、振動等の対策	1 事前調査により対策を立てていたか

			2 常に影響範囲の施設の点検をしていたか
D 施工体制	施工者の能力	現場代理人の管理能力	1 現場管理に関する諸計画と工事全体を把握していたか 2 作業員に対する統率力 3 設計図書に対する理解度
		主任・監理技術者の適性	発注した工事に対しての施工管理能力
		作業員の配置状況	1 工事規模、工事量に応じて適材適所に配置されていたか 2 計画的な人員・機械の配置をしたか
	施工者の熱意	工事に対する積極性	常に積極的で細部についても細心の注意を払い正確に施工したか
		研究心・創意工夫	創意工夫をもって施工し常に研究的だったか
		連絡及び指示事項の履行	常に緊密な連絡を取り指示通り迅速正確な施工をしたか

※（ ）内は、検査職員基準

採点基準

採点区分	a	b	C	d	E
審査要素	極めて良好である	良好である	普通である	やや劣る	劣る

項目	細別	採点区分										合計点
		検査職員					監督職員					
		a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	
A 出来形・品質	出来形	10	8	7	6	4	2.5	2	1.5	1	0.5	
	出来ばえ・機能	10	8	7	6	4	2.5	2	1.5	1	0.5	
	品質	10	8	7	6	4	2.5	2	1.5	1	0.5	
	関係資料	10	8	7	6	4	2.5	2	1.5	1	0.5	
B 工程管理	工期	7.5	6.5	5.5	4.5	3.5	7.5	6.5	5.5	4.5	3.5	
	工程表に対する実施状況	/					5	4.5	4	3.5	3	
C	工事管理	2.5	2	1.5	1	0.5	10	8	7	6	4.5	

現場管理	安全管理		7.5	6.5	5.5	4.5	3.5	
D 施工体制	施工者の能力		5	4.5	4	3.5	3	
	施工者の熱意		5	4.5	4	3.5	3	
E	採点計							